

『第7回高温ガス炉技術国際会議参加中国調査団』

- 7th International Topical Meeting on High Temperature Reactor Technology (HTR 2014) -

開催地: 中国 山東省 威海市

参加要項

1. テーマ: 第7回 国際高温ガス炉技術会議出席
2. 開催地: 中国 山東省 威海市 (Weihai, Shandong Province, China)
3. 期間: 2014年10月27日(月)～11月1日(土) 6日間
4. HTR2014 会議: 2014年10月27日(月)～10月31日(金)
5. 訪問先: 栄成石島湾原子力発電所 (CAP1400 初号機、山東省)
6. 団長: 松井 一秋 氏 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問 主席研究員

■略歴



1969年 東京大学工学部原子力工学科卒業
1971年 東京大学大学院工学修士
1971年 呉羽化学工業株式会社入社
1975年 米国ペンシルバニア州立大学大学院
化学工学修士
1980年 エネルギー総合工学研究所入所
現在研究顧問兼主席研究員

国内では日本原子力学会元副会長、
国際的には第4世代国際フォーラムの
メンバー
OECD/NEA の原子力開発委員会委員長
米国原子力学会前理事

顧問: 湯原 哲夫 氏 一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所 理事・研究主幹

■略歴



日本機械学会 発電用設備規格委員会 委員
海洋技術フォーラム 代表幹事
日中環境エネルギーシステム促進機構 共同代表
米国機械学会 規格・基準理事会 理事
原子力研究開発機構 構造・材料専門委員会 委員長
プロジェクト産業協議会 日本創生委員会 委員
海洋政策研究財団 海洋基本法戦略研究会 学識委員
太平洋ハイテクセンター (PICHTR) 理事
内閣官房総合海洋政策本部 参与会議 参与
日本機械学会 フェロー

7. 趣 旨:

中国は 2012 年 12 月、世界に先駆けて山東省で高温ガス炉実証炉の建設に着手しました。実証炉は 2017 年に完成の予定になっているほか、これに続く計画も福建省や江西省で具体化してきています。こうしたなかで、燃料生産ラインの建設や高温ガス炉の重要な構造材である黒鉛の国産化に向けた動きも始まっています。

日本技術者連盟は、高温ガス炉実証炉の地元山東省の威海で開催される「第7回高温ガス炉技術国際会議」(7th International Topical Meeting on High Temperature Reactor Technology: HTR2014)に参加するとともに、高温ガス炉実証炉と同じサイトにおいて今年8月に着工予定の中国版 AP 型炉「CAP1400」の初号機を視察するとともに、中国側関係者と意見交換を行うため 2014 年 10 月 27 日(月)から 31 日にかけて標記調査団を派遣することになりました。高温ガス炉実証炉サイトでは工事も順調に進んでおり、HTR2014 参加者に対してはテクニカル・ビジットも予定に組まれています。また、中国の国の重大プロジェクトの1つとして進める「CAP1400」は、「AP1000」をベースとして国家核電技術会社が開発しているもので、今後の中国の炉型戦略ともからめ、世界的にも高い関心を持ってみられています。

会期中の 10 月 30 日(木)に、ウェスティングハウスの「AP1000」をベースに中国が開発した第3世代炉である「CAP1400」を採用する「栄成石島湾発電所」の現場見学と同発電所を建設・運営する国核示范电站有限责任公司(国家核電技術公司 55%、中国華能集団公司 45%出資)の関係者との懇談を行います。「CAP1400」は戦略輸出炉としても位置付けられており、8月末に着工予定となっております。

この機会に是非、本調査団に参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

8. 日程: 10月27日(月): 日本出発
 10月28日(火): HTR2014 出席
 10月29日(水): HTR2014 出席
 10月30日(木): 「CAP1400」現場サイト視察
 10月31日(金): 午前(HTR2014 出席)、午後(実証炉サイト視察)
 11月1日(土): 日本帰国

Conference Program

Conference Program

HTR2014 Program Outline (Provisional)

	10/27/2014 (Mon)	10/28/2014 (Tue)	10/29/2014 (Wed)	10/30/2014 (Thu)	10/31/2014 (Fri)
Morning		•Opening Session •Keynote Address •Plenary Session 1: National and International Status and Progress	•Plenary Session 2: Safety, Licensing and Technology	•Plenary Session 3: Equipment Supply and Project Implementation	•Plenary Session 4: Application and Market •Closing Session
Afternoon	Registration	Technical Sessions	Technical Sessions	Technical Sessions	Technical Tour
Evening	Reception	Banquet		International Organizing Committee Meeting	

9. 募集人員: 15名 (最少催行人数10名)
 10. 参加費: ¥400,000-(消費税込み)
 ※HTR2014 会議出席費を含みます。
 11. 通訳(中国語): テクニカルツアー時のみ
 日中ベテラン通訳手配
 12. 添乗員: 添乗員は全行程同行いたします。
 13. ホテル: 一人部屋
 14. 旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル
 15. 総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構
 16. 申込方法: 添付申込書に必要事項記入の上、2014年9月5日(金)までに
 FAX(03-6229-1940) 又は E-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。
 申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社 ワンダートラベルより、
 手続きに関するご連絡をさせていただきます。
 17. 代金支払: 総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

※催行人数 10名に満たない場合及び日程その他変更が生じた場合には、参加費の変更がありますことを予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F
 Tel: +81-3-6229-1946 FAX: +81-3-6229-1940
 E-mail: idot@jef-site.or.jp E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
 URL: <http://www.jef-site.or.jp>
 URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>
 URL: <http://www.wkc21c.org>

第7回高温ガス炉技術国際会議参加中国調査団

日程表

2014年10月27日(月)～11月1日(土) 6日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい。

※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	日付	都市	交通機関	時間	日程	宿泊ホテル	食事
1	10/27 (月)	成田発 ソウル(仁川)着 関西発 ソウル(仁川)着 ソウル(仁川)発 威海着	KE-706 KE-722 KE-839 専用バス	9:10 11:50 9:40 11:40 13:55 14:10	大韓航空にてソウル(仁川)乗継にて威海へ。 着後、ホテルへ 第7回 国際高温ガス炉技術会議 登録/レセプション出席	威海泊	機内食 夕 〇
2	10/28 (火)	威海滞在		終日	第7回 国際高温ガス炉技術会議出席	威海泊	朝 〇 昼 〇 夕 〇
3	10/29 (水)	威海滞在		終日	第7回 国際高温ガス炉技術会議出席	威海泊	朝 〇 昼 〇 夕 〇
4	10/30 (木)		専用バス		荣成石島湾原子力発電(CAP1400採用、山東省) 国核示范电站有限责任公司の関係者との懇談)	威海泊	朝 〇 昼 〇 夕 〇
5	10/31 (金)	威海滞在		終日	第7回 国際高温ガス炉技術会議出席会議出席	威海泊	朝 〇 昼 〇 夕 〇
6	11/01 (土)	威海 威海発 ソウル(仁川)着 ソウル(仁川)発 成田着 ソウル(仁川)発 関西着	KE-840 KE-705 KE-721	午前 15:10 17:25 18:35 20:45 19:05 20:50	自由研修 大韓航空にてソウル(仁川)乗継にて帰国の途へ		朝 〇 昼 〇

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、事務局、添乗員同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ HTR2014会議参加費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代 他

III) 企画・運営費

- ・ 企画運営費

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

◎ 旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。

◎ 運営業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

その他

- ・ 参加費は、2014年6月12日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
	佐藤 正文	社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
監事	田代 空	元財団法人 日本人事行政研究所 理事長
	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木 宜彦	前財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	財団法人経済産業調査会 理事長
	逢坂 國一	社団法人日本電気技術者協会 会長
	荒井 利治	前社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暲	元社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 涉	社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	津山 雅樹	社団法人日本電機工業会 原子力部長
	富岡 義博	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	日本原子力発電株式会社 前常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授
	諸葛 宗男	東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道	技術士(建設部門、総合技術監理部門)
	坂倉 省吾	財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士
	島 直	ICTコンサルタント・前GDE消費者信頼委員会 筆頭シエルバ
	佐藤 正文	前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事
	小泉 英雄	技術士(電気電子部門)
	鄭 紹良	台湾総統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾総統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTS-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。

『第7回高温ガス炉技術国際会議参加中国調査団』参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行
FAX 03-6229-1940

フリガナ			
会社名・団体名			
英文名			
所属名/役職名			
英文名			
フリガナ	生年月日	大正・昭和・平成・西暦	
参加者氏名		年	月 日
パスポート記載名 (ローマ字)	学位		
E-mail	携帯電話番号		
勤務先	ご住所 〒	-	
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	ご住所 〒	-	
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名	印		
所属名/役職名			
旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)			
① はい	<input type="checkbox"/>	旅券番号:	有効期限: 西暦 年 月 日
② いいえ	<input type="checkbox"/>	現在申請中	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	自分で申請・取得する	<input type="checkbox"/>
喫煙の習慣	有・無		マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい
通信欄 (ご質問・ご希望等お書き下さい)			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

アご本人の同意がある場合

イ旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html> E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208